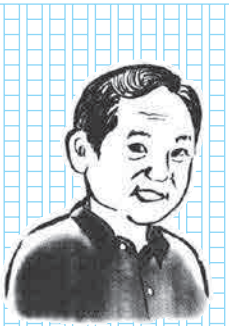

町長エッセイ

五月晴れは、盆地を取り囲む山々の緑を一段と色彩豊かにします。とりわけ、埼玉伝統工芸会館から眼前に広がる仙元山は、町外から訪れた方々には好評のようです。

５月３日から５日まで開催された「工芸の里まつり」では、多彩な催し物が行われました。子どもの日には、ミニＳＬが和太鼓の勇壮な演奏に負けまいと汽笛を鳴らして走り、子供たちの喜ぶ姿がありました。リュックを背負ったハイキングの方々が一息する姿もあり、自然と歴史に支えられた伝統を、集客に生かしていきたいと思います。

また、５月１２日と１３日には「第１７回　図書館まつり」がありました。この祭りは、図書館を利用して活動しているサークルや協賛するグループが、図書館の創立記念日にあわせ図書館と共催で行っているものです。私もコーラスサークルの一員として、サークルの創設時から参加してきました。１７年間でシニアが大半を占めるようになりましたが、溌剌とした歌声は色あせることはありません。歌い続けてきた「小京都おがわ」が正午を知らせるチャイムとなりました。

松本恒夫